

ISSN 0439-1713

弘前大学

教育学部紀要

第 126 号

令和 3 年10月

Bulletin of the Faculty of Education

Hirosaki University

No. 126

October 2021

弘前大学教育学部

Hirosaki, Japan

目 次

鳥取県立図書館所蔵の往来物資料について……………郡	千寿子 (1)
—目的別と出版地域別の分類整理—	
「形態」と「機能」の視点から見た小学校説明的文章についての一考察……………田 中 拓 郎 (9)	
— 小学校低学年説明的文章をもとにして —	
廃名『莫須有先生伝』訳稿 (六)……………張 雪 晶 (21)	
	山 田 史 生
大学生時代の矢部貞治 (1)……………大 谷 伸 治 (41)	
大学生時代の矢部貞治 (2)……………大 谷 伸 治 (53)	
大学生時代の矢部貞治 (3)……………大 谷 伸 治 (61)	
幼児教育における音楽活動の現象学的展望 (2)……………清 水 稔 (71)	
—「発表会」の教育的意義の再考察と、〈オンガク〉の問題点—	
幼児期における「遊び」と「表現」を観察する……………富 田 晃 (83)	
その場歩行運動中の歩行テンポの変化が生理学的運動強度に与える影響……………川 端 良 介 (95)	
	戸 塚 学
高等学校におけるバスケットボール授業の学習効果……………澤 田 有 里 (101)	
—戦術的情況判断能と学習記録からの検討—	
	益 川 満 治
	三 和 聖 徳
弘前大学教育学部附属幼稚園における走・跳・投能力の……………杉 本 和那美 (109)	
量的評価と質的評価からみる運動指導の検討	
高速道路間伐材由来活性炭の細孔物性に及ぼす化学成分の影響……………廣 瀬 孝 (117)	
打撃音法による青森ヒバ材の音響特性に関する研究……………廣 瀬 孝 (123)	
	芝 田 遼
	朝 山 奈津子
りんご剪定枝活性炭の吸着性能に及ぼす作製時間の影響……………廣 瀬 孝 (127)	
領域「環境」における栽培活動の実践と行動観察……………勝 川 健 三 (131)	
	松 山 信 彦
令和2年度版小学校検定教科書の語彙的分析……………佐 藤 剛 (143)	
—British National Corpus との比較から—	
	石 神 響 遼
	古 川 遼
	佐 藤 ゆ き
	竹 谷 もも香
	丹 藤 慧 也
小学校英語検定教科書のコロケーション分析……………佐 藤 剛 (153)	
—授業における例文作成のための指標策定—	
	佐 藤 李 子
	清 水 咲 良
	瀧 本 遥 陽
	村 木 歩乃佳
地域に根ざした質的研究の可能性……………吉 田 美 穂 (161)	
—弘前大学「子どもの貧困」プロジェクトの取組—	

弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部 研究推進委員会 紀要編集担当

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 原則として各年度の10月及び3月の年2回 Web 版で発行する。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部または教職大学院の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて組上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは本委員会紀要編集担当が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が10ページを超える場合や図版の作製などに特別の経費を要する場合は、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷やCD-ROMを希望する場合は、投稿の際に必要な数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は電子化された論文を「弘前大学学術情報リポジトリ」にて公開する。

この規定は、令和2年11月から施行する。

弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したUSBメモリ、CD-R等を添付すること。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則として一つずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるような明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」と「原稿受領書」を添付し、本委員会紀要担当者に確認を受ける。

研究推進委員会 紀要編集担当

高 橋 俊 哉 (代表者)

大 谷 伸 治

桜 田 安 志

田 中 完

弘 前 大 学
教 育 学 部 紀 要
第126号
(2021年10月)

令和3年10月25日発行
編集兼発行者
弘前大学教育学部
弘前市文京町1番地
電話 (0172) 36-2111(代)
印刷所 小野印刷
弘前市富田町52
電話 (0172) 32-7471(代)

CONTENTS

Investigation report on "OURAIMONO" documents of Tottori Prefectural Library possession: A study based on the publication place and the purposeful classification analysis	Chizuko KOHRI	(1)
An Investigation of Expository Texts in Japanese Authorized Textbooks for Lower Grade Elementary School Students: From the Perspectives of the Forms and the Functions	Takuo TANAKA	(9)
Fei Ming's Moxuyouxiansheng zhuan: A Transportation (6)	Xuejing ZHANG Fumio YAMADA	(21)
A Basic Study on Teiji Yabe's student days at Tokyo Imperial University (1)	Shinji OHTANI	(41)
A Basic Study on Teiji Yabe's student days at Tokyo Imperial University (2)	Shinji OHTANI	(53)
A Basic Study on Teiji Yabe's student days at Tokyo Imperial University (3)	Shinji OHTANI	(61)
A phenomenological Perspective of Music Activities in Early Childhood Education II : Reconsidering the Educational Significance of "Recital" and the Problems of "Ongaku (music)"	Minoru SHIMIZU	(71)
Observe "Play" and "Expression" in Early Childhood	Akira TOMITA	(83)
Effect of change in walking tempo on physiological exercise intensity during in-situ walking exercise	Ryosuke KAWABATA Manabu TOTSUKA	(95)
Learning Effect of Basketball Class in High School -Examination from Tactical Decision-making Competency and Learning Record-	Yuri SAWADA Mitsuharu MASUKAWA Shotoku MIWA	(101)
Examination of exercise guidance based on quantitative and qualitative evaluation of sprinting, jumping and throwing ability test at the kindergarten attached to the Faculty of Education, Hirosaki University	Kanami SUGIMOTO	(109)
Effect of chemical composition on the pore properties of activated carbon from highway thinned wood	Takashi HIROSE	(117)
Properties of acoustic Aomori Hiba lumber by the hammering method	Takashi HIROSE Ryo SHIBATA Natsuko ASAYAMA	(123)
Effect of activation time on the adsorption characteristics of activated carbon from apple pruned branches	Takashi HIROSE	(127)
School gardening practices and behavioral observations in Field of the Environment	Kenzo KATSUKAWA Nobuhiko MATSUYAMA	(131)
Analysis of the Vocabulary of Authorized English Textbooks for Elementary School English: Comparison with the British National Corpus	Tsuyoshi SATO Hibiki ISHIGAMI Ryo KOGAWA Yuki SATO Momoka TAKEYA Keiya TANDO	(143)
Collocation Analysis of Authorized Textbooks for Elementary School English: Identification of Appropriate Instructional Sentences for Class Presentation	Tsuyoshi SATO Riko SATO Sakura SHIMIZU Haruhi TAKIMOTO Honoka MURAKI	(153)
Potential of Qualitative Research Rooted in the Region: Efforts of Child Poverty Project in Hirosaki University	Miho YOSHIDA	(161)